

**3Mジャパングループ5拠点で、恒例の夏休み子ども科学実験館を開催
約400名の子供たちが科学の面白さを体験**

3Mジャパングループは、7月21日から8月25日にかけて、「3M 夏休み子ども科学実験館」を全国のグループ5拠点で開催しました。子供たちの科学離れが叫ばれて久しい中、化学メーカーである当グループでは、科学への関心を持ってもらう目的で、毎年夏休み期間中に同プログラムを展開しています。

1996年から世田谷区の本社で始まった「3M 夏休み子ども科学実験館」は、今年で17年目を迎えます。小学校高学年の児童を対象に、国内の主要な製造事業所や研究所など5カ所で開催しており、今年も、相模原事業所97名、岩手スリーエム20名、富士小山研究所80名、山形スリーエム70名、本社122名、合計約400名が参加し、科学の面白さを体験しました。

2012年「3M 夏休み子ども科学実験館」実施概要

日程	7月21日	7月28日	8月4日	8月25日	
事業所	相模原事業所	岩手スリーエム	富士小山研究所	山形スリーエム	本社
実験テーマ および アトラクション	接着の科学 水の科学 ドライアイスの科学 テーブラリー	音の不思議 キャンドルで学ぶ燃焼 の科学 静電気の科学 テーブラリー	低温の科学 空気の科学 電気の科学 ミサンガ作り お楽しみ教室	接着の科学 液体のふしぎ: 「とかそう/レモン汁で割 れる風船時限爆弾」「か ためみよう/人エイク ラ」「あやつろう/ダイラ タンシー片栗粉液」	接着の科学 水の科学 ドライアイスの科学 テーブラリー
参加児童数	97名	20名	80名	70名	122名
ボランティア数	40名	25名	50名	45名	44名

本社および相模原事業所の「3M 夏休み子ども科学実験館」の実験リーダーである伊藤剛史は、「いろいろな実験を通して、理科や算数といった日頃の勉強を少しでも楽しく感じてもらえればと思います」と述べています。また、本社の「3M 夏休み子ども科学実験館」の運営責任者であり、住友スリーエム総務部マネジャーの浜田敬一は、「実験を率いるメンバーの多くは技術者ですが、実験館は子どもたちに科学の基本をわかりやすく伝えることで、彼ら自身に視点や方法論を見つめ直す気付きを与えてくれています。また、子どもたちが実験を楽しんでくれている様子は、ボランティアで参加する社員にとってもかけがえのない喜びとなっています」と述べています。



接着の科学: でんぷんと水をホットプレートの上で攪拌し、のりを作る実験。(相模原)



静電気の科学: 身近な材料で、静電気発生メカニズムを学ぶ実験。(岩手)



空気の科学: 空気砲の中に煙をいれて空気の輪を飛ばす実験。(富士小山)



液体の不思議:水と片栗粉で、ダイラタンシー現象を体感する実験。(山形)



ドライアイスの科学:昇華作用を利用した魔法の絨毯に乗る実験。(本社)



過去最多の122名の児童が参加。(本社)